

## 今後の主な検討事項及び検討方法

資料5

検討事項	検討方法
<b>検討課題1: 車両走行データの取得方法</b>	
CANからのデータ取得の実現可能性・手法、実現可能時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CANからデータ取得している事例把握及び海外での取り組みの把握</li> <li>・自動車メーカー、機器メーカー及び行政等関係者において検討</li> </ul>
<b>検討課題2: 運行記録計の要件</b>	
①運行記録計の目的の明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者及び関係機関等へのヒアリングを行い、デジタコの役割の整理</li> </ul>
②法定3要素(速度、時間、距離)以外のデータの基準化・標準化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者の要望、機器の品質及びコスト等への影響を踏まえつつ、機器メーカー及び行政等関係者において検討</li> </ul>
③技術基準及び試験方法等の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外事例等を踏まえ、技術基準及び試験内容等の見直しを検討</li> </ul>
<b>検討課題3: 運行記録計と連携すべき機器及び連携方法</b>	
①将来的に想定される連携イメージの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携機器の事例把握、関係者へのヒアリング等を通じて連携イメージを作成</li> </ul>
②インターフェースの標準化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機器メーカーを中心に、海外事例等を参考に検討</li> </ul>
<b>検討課題4: 走行データ等の出力方法の標準化</b>	
データフォーマットの標準化ロードマップの策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(案1)営業所端末に共通出力端子用ドライバソフトウェア及び共通ソフトウェアの導入や(案2)共通データの出力及び共通ソフトウェアの導入について、事業者団体及び機器メーカー等から意見収集</li> </ul>
<b>検討課題5: データの送信方法(携帯回線、Wifi、SD等)</b>	
①事業者規模等に応じた最適な送信方法の提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者や機器メーカー等における現行の取り組み事例の収集(データ送信方法、送信頻度、価格等)</li> <li>・今後の各種通信サービスの動向把握(携帯回線、WiFi 等)</li> </ul>
<b>検討課題6: 一元管理すべき情報(個々の事業者内)</b>	
①活用方策の提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行管理や健康診断、休息期間中のヘルスケアデータなどを運転者ごと一元管理することで、健康予測や運転者教育等更なる安全指導の提案</li> <li>・事業者や安全運行サポーター協議会等から、活用方策について意見収集</li> </ul>
<b>検討課題7: 一元管理の方法(事業者間での情報の集約化・利活用)</b>	
①一元管理の効果を提示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者、機器メーカー、安全運行サポーター協議会及びIT関係企業等から、効果及び個人情報の扱いについて意見収集</li> </ul>
②個人情報の扱い	